

新会員へのオリエンテーション

ロータリーへようこそ



国際ロータリー第2560地区 第6分区

小千谷ロータリークラブ

▶ CONTENTS

▶ 01	ロータリーとは	2
▶ 02	ロータリー・クラブの会員と職業分類	3
▶ 03	ロータリアンの義務と特典	4
▶ 04	ロータリーの奉仕理念（奉仕の理想）	5
▶ 05	五大奉仕	6
▶ 06	四つのテスト	7
▶ 07	クラブ例会	8
▶ 08	例会出席と欠席補填（メイクアップ）	9
▶ 09	ニコニコ BOX	11
▶ 10	クラブの組織	12
▶ 11	親睦	14
▶ 12	ロータリーの会合	15
▶ 13	地区（The District）	17
▶ 14	国際ロータリー（RI：Rotary International）	18
▶ 15	ロータリー財団	19
▶ 16	ロータリー米山記念奨学会	22
▶ 17	ロータリーの推進月間と週間	24

01 ロータリーとは

ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的規準を守ることがを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した実業人および専門職業人が世界的に結び合った団体です。

一言でいえば、ロータリーは、利他の心を養い、人を育てるとともに、見返りを求めない奉仕活動を行う世界的な団体です。

ロータリーを知る方法

ロータリーを知るためには、いろいろな文献がありますのでそれを勉強することも必要ですが、一朝一夕には参りません。まずロータリーに慣れることが第一です。それには例会に出席することです。ロータリーの活動は全て例会から出発します。そして例会以外の会合、つまりフォーラムとか、情報集会とかロータリーを知るための勉強会のようなものがいろいろありますので、是非それらの会合に出席することです。そして毎月配布されます公式地域雑誌（義務購読）「ロータリーの友」を読むことが大切です。また、できるだけ、ロータリーのウェブサイト（<http://www.rotary.org>）にもアクセスしてみてください。

ロータリーの効用

- 1) ロータリーは心の友をつくる
- 2) ロータリーは人をつくる
- 3) ロータリーは信用をつくる
- 4) ロータリーは感動をつくる
- 5) ロータリーは夢をつくる
- 6) ロータリーは青春をつくる
- 7) ロータリーは平和をつくる

02 ロータリー・クラブの会員と職業分類

会員の選出は、現会員の推薦により所定の手続きを経て、クラブ理事会の承認を得ることと決まります。

1. 会員の種類

1. 正会員 (Active Member)

原則善良な成人で、職業上良い世評を受けている正会員によって構成されますが、ロータリー財団学友、社会奉仕活動をしている人、奨学生・ボランティア補助金受給者、人道的補助プログラムの参加者たち、あるいは子供の世話などの為に仕事を中断した人、同じ理由のため仕事をすることがない人を正会員に選出することもできます。

2. 名誉会員 (Honorary Member)

ロータリーの理想推進のために賞賛に値する奉仕をした人で、ロータリーの運動を恒久的に支援できる人を名誉会員に推挙できます。しかし、濫用してはなりません。名誉会員は、入会金および会費は免除され、投票権はなく、職業分類の代表もせず、クラブのいかなる役職につくこともありません。かかる会員身分の存続期間は、会員となっているクラブの理事会によって決定されます。

2. 職業分類 (Classifications)

ロータリー・クラブの正会員は、その事業、専門職務、または社会奉仕の種類に従って分類されます。職業分類は本人の所属する会社、企業、団体の主要かつ一般世間がそのように認めている事業活動を示すものか、本人の主たるかつまた一般世間がそのように認めている事業または専門職種を示すものか、本人の社会奉仕活動の種類を示すものでなければなりません。クラブはこのような定義の下で、周辺区域内の事業および専門職務活動を表す適切な職業分類を設定します。

03 ロータリアンの義務と特典

会員の義務については、RC定款第14条に厳しく明記しています。「会員は、入会金と会費を支払うことによって、目的の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を遵守し、これに拘束されることを受諾するものとする」そうして更に「そしてこれらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる」とありますが、特典については詳しく記していません。

ロータリーは特典を得るための義務履行ではなく「超我的奉仕」なのです。しいて言うならば、有形のものではなく、人生哲学的なものと言えます。

義 務

- 1 RI定款・細則並びにRC定款・細則を遵守すること。
- 2 入会金・会費を納入すること。
- 3 例会に出席すること。
- 4 新会員を推薦すること。
- 5 委員会活動・その他ロータリー・プログラムに参加すること。
- 6 雑誌「ザ・ロータリアン」又は「ロータリーの友」を購読すること。

特 典

- 1 RCの会員には本人が希望してもなれない。会員により推薦され、選挙されて初めて会員となれる。
- 2 全世界201ヶ国に34,558クラブ、品性高潔な1,220,115人（2014年10月末日現在 RI公式発表）の友人を得ること。
- 3 全世界のRC例会、ロータリー会合に参加できること。
- 4 奉仕活動に参加できること。
- 5 ロータリアンとしての絶大な信用を得ること。
- 6 ロータリアンとして、適格な人を推薦することができること。

会員身分の終結

- 1 会費を納入しないとき
- 2 連続4回、クラブの例会を欠席し、メイクアップも行わない場合
- 3 半年間にメイクアップを含む出席率が50%に達しない場合（出席免除会員等は除く）
- 4 半年間に所属するクラブの例会に30%出席していない場合

04 ロータリーの奉仕理念（奉仕の理想）

数多いロータリーの公式文書の中で奉仕理念に触れているのは「決議23-34」のみです。

決議23-34には「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—Service above self—の哲学であり、He profits most who serves best という実践理念の原理に基づくものである。」と定義されています。

He profits most who serves best は2010年の規定審議会で、One Profits most who serves best と変更になりました。

ロータリーは利他と利己の矛盾を和らげる人生哲学

この哲学は「**超我の奉仕**」（Service Above Self）という奉仕哲学

その実践論理の原則は「**最もよく奉仕する者、最も多く報いられる**」

（He profits most who serves best.）

（出典：2010年手続要覧 P104 英語版 日本語版 P114）

さらに、公式名簿（Official Directory）の最終ページに記載されている Brief History of Rotaryには、**奉仕の理想とは、「他人のことを思い遣り、他人のために尽くす」**"thoughtfulness of and helpfulness to others"という解釈がつけられています。

ポールハリスはその著書の中で、ロータリーの「奉仕の理想」について『ロータリーの概念する奉仕の理想とは、物の過程の最初に奉仕を置くものである。最も愚かな方法は金銭に集中することである』と述べ、さらに『有志以来、偉人中の最大偉人等がその言にその行に宣揚し来ったものは、「奉仕第一、自己第二」"Service Above Self"というスローガンのなかに要約され得る教義である』と説明しています。

➤ 05 五大奉仕

The Five Avenues of Service

1. **奉仕の第一部門であるクラブ奉仕**は、ロータリアンが、クラブを円滑に機能させるために行う次のような行為をいう。すなわち、クラブ会合に出席すること、クラブの親睦に加わること、クラブのプログラムに参加すること、委員になること、理事を務めること、会費を払うこと、クラブ外の活動においてクラブを代表すること—たとえば他のRCで講演したり、都市連合会、地区研修協議会、地区大会、リーダーシップ・フォーラムに出席したり、新クラブの設立に当たって自分のクラブを代表したりすること。
2. **奉仕の第二部門である職業奉仕**は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。
3. **奉仕の第三部門である社会奉仕**は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. **奉仕の第四部門である国際奉仕**は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. **奉仕の第五部門である青少年奉仕**は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならび若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。（2010年規定審議会で追加された）

06 四つのテスト

The Four-Way Test

職業人としてのロータリアンの心構え、ロータリーの倫理基準を簡潔かつ的確にまとめたものが「四つのテスト」です。

シカゴRCの会員で、1954-'55年度にR I 会長を務めたハーバートJ・テラーが、1932年の恐慌のとき、倒産に瀕していた調理器具メーカーの再建を要請され社長に就任し正しい営業活動を行えば必ず会社再建できると考え、「四つのテスト」を示しました。同社の業績は改善を続け、5年後には借金は完済、15年後には株主に多額の配当金を分配するまでになりました。

「四つのテスト」は商取引をする当事者同士の極めて現実的な基準だったということです。

1943年のR I 理事会の認証のもとに職業奉仕のプログラムに組み込まれ、五大奉仕において極めて重要な要素であると考えられました。

1954年、彼がR I 会長に就任したとき、その版權をロータリーに委譲しました。四つのテストは世界各国の言葉で翻訳され、広く活用されています。

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

THE FOUR-WAY TEST of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH?
2. Is it FAIR to all concerned?
3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?

07 クラブ例会

小千谷ロータリー・クラブでは、原則として毎週木曜日にクラブの例会が行われます。例会に出席することは、ロータリアンの三大義務（会費の納入、例会出席、ロータリー雑誌の購読）のうちの1つです。

慣れれば当たり前のように出かけていく例会ですが、新会員にとってはそもそも「例会」って何だろう？ と思われるかもしれません。

1. プログラム

【小千谷RC議事の順序】

- ①開会点鐘 ②ロータリーソング ③ゲスト（お客様）の紹介 ④食事
 - ⑤会長あいさつ ⑥幹事報告 ⑦委員会報告 ⑧ニコニコ箱の報告
 - ⑨卓話またはその他のプログラム ⑩閉会点鐘
- （議事の順序はクラブ細則により異なります）

例会は点鐘から始まります。その後のプログラムについては、食事、会長スピーチ、国際ロータリー（RI）や地区、近隣のクラブからのお知らせ、各委員会の報告などと続きますが、その順序はクラブによってさまざまです。ロータリーソングを歌ったり、クラブによっては童謡などを歌っているところもあります。「四つのテスト」や「ロータリーの目的」を唱和するクラブもあります。

また、ゆっくりと食事をしたり、例会での話をたくさん楽しむためなどの目的で、食事をする時間を例会時間には含まず、点鐘前に例会場にきた人から食事をとるというクラブもあります。例会時間も、おおよそ1時間の日本国内とは異なり、国外では長短バラエティーに富んでいるようです。

卓話は、毎週の例会のハイライトです。クラブの会員が自分の職業やロータリーについて話をしたり、ロータリアン以外の人を迎えて話をしてもらったりします。また、クラブで世話をしている米山奨学生や交換学生が話をする場合もあります。

08 例会出席と欠席補填（メイクアップ）

1. 例会出席の大切さ

ロータリーでは毎週1回決まった曜日と時刻に例会を開きますが、例会の所要時間は日本では、概ね1時間です。

ロータリーではこの例会への出席を最も重要視し、その規則も非常に厳格です。従って入会前にこのことを十分ご承知の上で入会されたことと思いますが、それでも最初のうちはこの厳しさに戸惑って、いつまで続くことかと不安に思われる方もあるかと思います。しかし、入会して暫くの間は我慢して時間のやりくりをしてみてください。その内には必ず習慣となり、無理なく出席できるようになります。

ロータリーへお入りいただく方は、皆さんお忙しい方ばかりですが週に1回食事を共にし、新しい情報の交換をし、心身をリラックスする。僅か1時間の余裕づくりが習慣となるまで暫くの辛抱です。

Q 例会はいつ、どこで開催されているのでしょうか？

A 近隣のクラブが、いつ、どこで例会を開催しているかはご存じだと思います。例会の時間や場所の変更も事前に届きます。でも、出張などで、例会を探すのはどうしたらいいのでしょうか？『ロータリーの友』誌の3月号と9月号に挟み込んである「例会一覧表」や地区ホームページなどをご利用ください。

ロータリアンなら、いつ、どこのクラブの例会に出席しても歓迎されます。各クラブではビジター（メイクアップのために訪問する人のこと）を見込んで、席や食事の準備をしていますので、事前に電話などで連絡してから訪問することをお勧めします。初めて訪問するクラブの場合でも、相手が待っていてくださるので、心細い思いをすることもありません。

Q 例会場についたら何をするのですか？

A 他クラブの例会に行ったら、まず受付に行きます。ビジターは受付に行き「ビジターフィー」（訪問費）を支払い、名札をつくってもらいます。例会時の食事代が主なものです。ほとんどのクラブでは、一定の金額のビジターフィーが決まっていますが、クラブによっては、金額が3種類ぐらい決まっていて、その日の食事の内容で変わることもあります。

受付を済ませると、クラブの担当者が席に案内してくれます。また、ニコニコ箱に寄付を入れるかどうかは、自由です。もちろん金額も自由です。でも、どのくらいの金額を入れればいいのか、迷ったり、悩んだりした場合には、受付の担当者や、案内

をしてくださる会員に、そっと聞いてみてください。同じロータリアン同士ですから、親切に教えてくださることと思います。訪問先のクラブ幹事からは「訪問ロータリアン報告用紙」（一般に「メイクアップカード」と言われます）に、メイクアップの旨が記入され、用紙はその場で手渡されたり、ホームクラブに送付されたりします。

2.メイクアップ

ロータリアンには例会に出席する義務があります。ホームクラブに出席できないときには、他のクラブの例会やロータリーのその他の会合（地区大会、インターシティーミーティング、その他の地区の会議など）に出席するメイクアップ（Make-Up）という方法で、通常の例会欠席を補うことができます。

最近ではインターネット・クラブ（Eクラブ）の誕生によって、IT環境が整った場所では、いつでもどこにいてもメイクアップができるようになりました。

例会に欠席の場合、他のどこかのロータリークラブの例会、またはクラブ理事会によって承認されたクラブの奉仕プロジェクトに出席することで、その欠席を補填することができます。詳しくはクラブ定款第9条（出席）を参照してください。

3.出席の免除

- 理事会の承認ある条件と事情による欠席の場合。理事会は、正当かつ十分な理由による会員の欠席を認める権限を持ちます。このような出席規定の適用の免除は、最長12ヵ月間までとなります。病気による場合は、12ヵ月以上でも認められます。
- 一つまたはいくつかのロータリー・クラブのロータリー歴（20年）と会員の年齢の合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもってクラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。
- 会員が現役のRI役員である場合。

09 ニコニコBOX

例会場には、ニコニコBOXと呼ばれる受付が設けられています。

これは会員の喜び事、祝い事あるいは、ちょっとしたしくじりなど、出来事や近況披露、お礼や感情表現など様々な理由付けの活用方法で、会員が自発的に拠金をするもので、別に何の規定も文献もあるわけではありません。要するに、ニコニコ箱の名が示す通り、拠金する会員もニコニコしながら拠出し、集まったお金は、クラブの奉仕活動などに使用します。金額については、善意のお金ですからいくらでも良いのですが、だいたい1,000円単位のところが多いようです。喜びの大きいときは相当多額のニコニコもありますが、多くの人からいろいろの理由で何回も拠金してもらうのが、ニコニコ箱本来の姿といえましょう。

ただし、ニコニコ箱というのは世界的な慣例ではありません。日本にはありますが、世界中どこの国にもあるというものではないのであります。

アメリカを始め諸外国にはニコニコ箱に類するものとしてFine BoxとChest Boxがあります。Fine Boxは罰金箱で、欠席、早退とかのペナルティを集める制度であり、Chest Boxは目的を定めた募金箱ですから、目的を定めずに募金をする日本のニコニコ箱とは若干違います。

奉仕活動をするための資金集めは、会員の了解を得た上で目的を定めて、その目的のために帽子を回すのが諸外国のやり方ようです。

日本で、ニコニコ箱の慣例ができたのは、昭和10年のことでした。関東大震災の被災孤児たちを東京ロータリー・クラブの人たちが東京ロータリーホームという孤児院で世話をしていましたが、その子供たちを当時オープンした多摩川園という遊園地に連れていくための資金を集めるために、会員の羅紗問屋 上村伝助商店の筆頭番頭であった関幸重という人が一計を案じ、ありあわせの段ボール箱を持って、軽妙洒脱な面白おかしく話をしながら例会場を回ってお金を集めたのが最初でした、という説やその他異論もあり決定的な起源は不明です。

10 クラブの組織

クラブ管理主体は理事会です。すなわち会長、直前会長、会長エレクト、副会長（任命された場合）、および幹事、理事です。また会計および会場監督（任命された場合）は細則の定めるところに従って、理事会のメンバーとすることができます。

◆クラブ理事

会長・直前会長・会長エレクト・副会長（任命された場合）・幹事・理事（会計・会場監督は細則の定めによる）（理事の選出方法、人数は細則で定めたとおり）

◆クラブ役員

会長・直前会長・会長エレクト・幹事・会計（副会長・会場監督を役員に含めることができる）

会 長

クラブを代表すると同時にクラブ運営の責任者。会長は就任の18ヵ月以上2年前まで会長として年次総会において選出されます。前年度に会長エレクトになります。

幹 事

文字通りクラブの『幹』としてクラブ管理の実務的事項をすべてとりまとめます。

会 計

理事会の意向を受けて幹事とともに予算・決算の実務を行います。

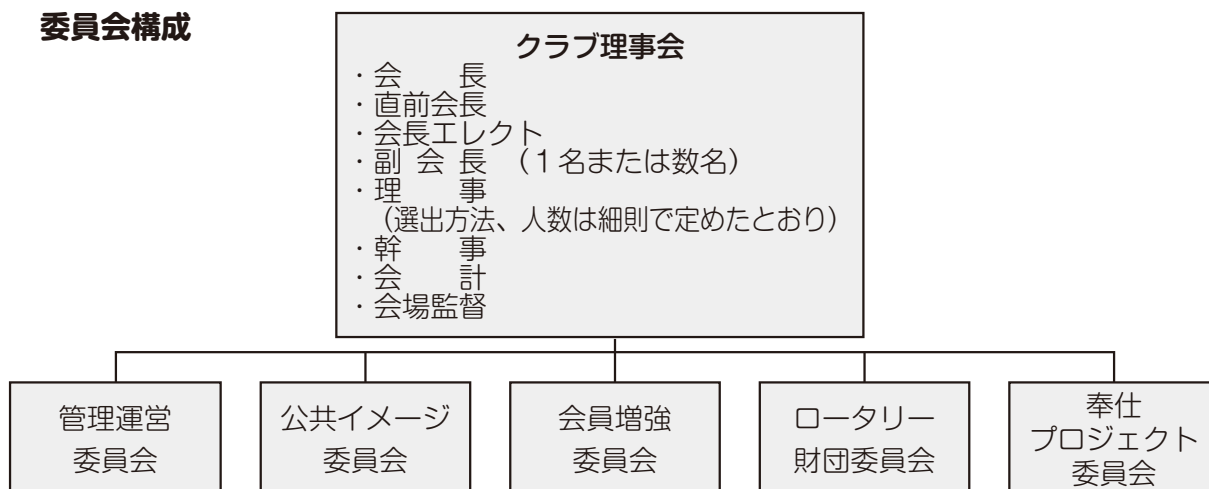
会場監督 (SAA)

SAAは武装軍曹の意。例会場における最高の権限を持つ役員として、例会場の気品と風紀を守るだけでなく、例会場を設営し管理するという大役です。

クラブ委員会 (Club Committees)

クラブ・リーダーシップ・プランでは、クラブの年次目標を実現するために、以下の5つの常任委員会を任命することを推奨しています。

委員会構成



会員増強委員会 (Membership)

クラブ会員の勧誘と退会防止の計画を立案、実施します。

小委員会……会員増強、会員選考、職業分類、ロータリー情報 など

公共イメージ委員会 (Public Relation)

ロータリーに関する情報を一般の人々に提供し、クラブの奉仕プロジェクトや活動を広報するための計画を立案、実行します。

小委員会……雑誌、クラブ会報、IT など

管理運営委員会 (Administration)

クラブの効果的な運営に関する活動を実施します。クラブ幹事および会計は、この委員会の委員にもなります。

小委員会……出席、親睦活動、プログラム、ニコニコ など

奉仕プロジェクト委員会 (Service Projects)

地元社会や他国の地域社会のニーズを取り上げた教育的、人道的、職業的プロジェクトを立案、実行します。

小委員会……職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年、インターアクト、ロータリーアクト、青少年交換、ロータリーボランティア、共同奉仕 など

ロータリー財団委員会 (The Rotary Foundation)

財政的寄付と財団の様々なプログラムへの参加の両面から、ロータリー財団を支援するための計画を立案、実施します。

小委員会……財団プログラム、財団寄付 など

上記の常任委員会以外の委員会は、年度ごとに、クラブの規模および目標に応じて、特別 (ad-hoc) 委員会を任命することができます。

(特別なプロジェクトや、クラブが古くから行っている活動を反映した委員会、たとえば、米山記念奨学委員会)

また、地区との関係で言えば、クラブ委員会はガバナー補佐および関係地区委員会と協力をする必要があります。さらに、クラブは必要に応じて常任委員会のもとに小委員会を設置することも可能です。

➤ 11 親睦

親睦委員となられたら

新会員は、親睦委員会に所属することが多いようです。それは、ロータリー発足の原点でもある、早く多くの人と知り合いになって親睦を深めるようにとの配慮からです。

親睦会員の任務については、下記のとおりですが、新会員はまず例会時間より早めに会場に来て、親睦委員長や古参の親睦委員と共に例会場の受付で、訪問者や会員を笑顔で迎えることから始めていただきたいと思います。

そうすることによって、クラブ会員との親睦や未知の他のクラブ会員との友好が次第に深まります。

親睦委員会とは

親睦活動の分野は大別して、4つの対象に分けられます。

つまり、**1.会員相互** **2.来訪者** **3.他クラブ** **4.家族**に対する親睦活動があります。それぞれを簡単に説明します。

1. 会員相互

例会場においては、会員は職業分類において平等であるという点を生かすよう、座席の配置に注意をします。

例会場内外での親睦活動として趣味の会、スポーツ、旅行などを行うことによって、親睦が更に深まります。

最も効果的な親睦は「一緒に仕事（奉仕活動）をすること」です。

2. 来訪者

クラブ来訪者が良い印象をもつような接待をすることが大切です。

閉会の点鐘まで来訪者に友情を示しましょう。

3. 他クラブ

近隣クラブなど他クラブとのゴルフや花見会などの交流を深めることにより交際範囲が広がり、いろいろ刺激を受けてロータリーの楽しさが増加します。

4. 家族

家族を交えた親睦会が大きな親睦効果を上げることはいうまでもありません。それは更に、家族にロータリーを理解させ、家族をロータリーファンにすることがロータリー活動に大切です。

➤ 12 ロータリーの会合

クラブの主な会合

クラブ例会

例会は毎週一回、定められた日および時間に定期の例会を開催することとなっています。

クラブ理事会

毎月一回定例理事会が開催されます。理事会はクラブ運営上の最終の決定権と責任をもっています。

クラブ年次総会

毎年12月31日までに年次総会が開催され、役員選挙が行われます。

クラブ協議会 (クラブ・アッセンブリー)

クラブのプログラムと活動もしくは会員教育について協議するために開かれる、クラブ役員、理事、委員長の会合ですが、すべての会員も出席することを奨励されています。

クラブ討論会 (クラブ・フォーラム)

奉仕理念、クラブ管理運営、委員会活動などの問題点について自由な意見を述べ合う討論会です。

家族集会・情報集会

会員宅などを持ち回りして、少人数で開く非公式な懇談会であり、アット・ホームな雰囲気から公式な会合では言いだせない初歩的な質問なども気安くきりだせる会合。主に、ロータリー情報伝達を目的に行われるものが情報集会となります。

地区の主な会合

地区大会

毎年開催される地区内ロータリアンの大会で、その目的は、親睦、感銘深い講演、地区内クラブやRI全般に関する問題の討議によって、ロータリーの目的を推進することです。

ガバナー公式訪問

各クラブがその所属しているRI役員であるガバナーが公式に接触する年一回の大切な機会です。

地区ガバナーはその年度のRIテーマを解説するとともに実施についてロータリアンの意欲を喚起させます。また、クラブの実績や問題点について率直に討議し、指導をします。

IM (都市連合会)

近隣都市の数クラブが合同して情報交換及び親睦を行う会合。

地区研修協議会

毎年4月もしくは5月に開催される新年度クラブ指導者のための会合。

国際ロータリー（R I）の主な会合

R I 理事会

R I の管理主体としてR I のすべての役員、委員会を統御管理し、ロータリーの目的推進のために必要な方法を講じ、また決定します。

国際協議会

ガバナーエレクトにロータリー教育を行い、運営上の任務を指導し、鼓舞奨励し、次年度のプログラムや活動の実施方法を討議・計画することを目的とします。

毎年、2月15日までに開催されます。

規定審議会

R I の立法機関として組織規定を改正する権限を有し、組織内から提出された制定案と決議案についての審議決定します。規定審議会は3年に一度召集されます。

国際大会

R I 国際大会は、会計年度の最後の3カ月間に、R I 理事会の決定する時と場所において開催されます。主たる目的は、国際レベルにおいて全ロータリアンを鼓舞、激励し、かつ情報を与え、ロータリー発展の意欲を喚起するものです。

➤ 13 地区 (The District)

地区とは、管理の便宜上結びつけられた、一定の地理的な地域内にあるロータリー・クラブのグループです。ロータリー地区の活動ならびにその組織は、個々のロータリー・クラブがロータリーの目的を推進するのを助けることを唯一の目的とするものであり、ロータリー・クラブや個々のロータリアンが提供する奉仕を減殺することがあってはなりません。

ガバナー (Governor)

ガバナーはR I 理事会の一般的な指揮、監督の下に職務を行う、その地区におけるR I の役員です。ガバナーは地区内のクラブに対する指導と監督を行い、ロータリーの目的を推進する任務を課せられています。また、ガバナーは、地区内のクラブを啓発し、意欲を与え、地区内の継続性を確保します。

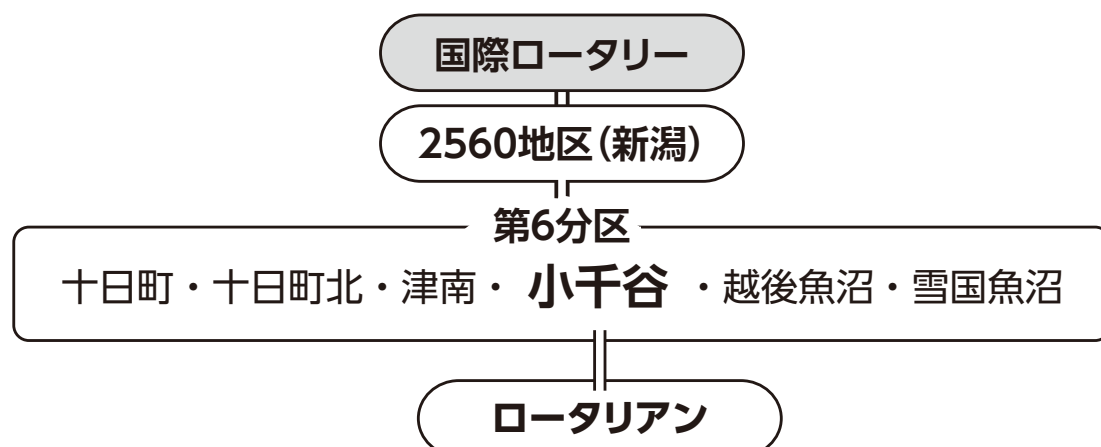
ガバナー補佐 (Assistant Governor)

ガバナー補佐はガバナー・エレクトにより任命され、指定されたクラブの運営に関してガバナーを補佐する責務を担います。

地区委員会 (District Committees)

地区委員会は、ガバナー補佐の助言を得てガバナーが正式に設定した地区目標の実行を担うための組織です。委員会は以下のような現行の管理運営機能を受け持つために任命されます。

- 研修 ● 会員増強 ● 拡大 ● 財務
- 現行の地区レベルのプログラム（例：青少年交換、ローターアクトなど）
- 広報 ● 地区大会 ● ロータリー財団 ● R I 国際大会推進



➤ 14 国際ロータリー (RI : Rotary International)

国際ロータリー（R I）は全世界のロータリー・クラブの連合体です。（R I 定款第2条）。R Iの目的は次の通りです。

- 1) ロータリーの目的を推進するようなプログラムや活動を追究しているR I加盟クラブとR I地区を支援すること
- 2) 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、管理すること
- 3) R Iの活動を調整し、全般的にこれを指導すること（R I 定款第3条）

R I 会長

会長は、R Iの最高役員です。会長は、R Iの第一の代弁者であり、国際大会とR I理事会の会合を主宰し、事務総長に助言し、その他の関連する任務を行います。

R I テーマ

国際ロータリー(R I)のテーマとは、R I会長から、毎年発表されるロータリー・メッセージのことです。このテーマは、ロータリー年度を通じて、奉仕の実践に最も重要なものです。テーマは、会長の抱負を端的に物語るとともに、そのロータリー年度の進路を示すものでもあります。

R I 戦略計画 (RI Strategic Plan)

2001-02年度、国際ロータリーは奉仕の第2世紀を迎え、組織を導く長期的な計画の立案を始めました。依頼この戦略計画は定期的に見直され、更新されています。

2009年、理事会は、R I戦略計画の大幅な見直しを行い、R Iとロータリー財団が進むべき進路と一致するよう改訂され、2010年7月1日より有効となりました。

本質 (Core Essence)

地域の人々の生活の改善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク。

指名 (Mission)

私たちは、他社に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する。

中核となる価値観 (Core Values)

ロータリーの中核となる価値観は、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップです。

➤ 15 ロータリー財団

- ▶ ロータリー財団は、国際ロータリーの6人目の会長アーチ・クランプ氏の提唱で1917年に基金として発足し、1928年国際大会で「ロータリー財団」と名付けられました。
- ▶ ロータリー財団は、「非営利財団法人」で、博愛、慈善、人道的かつ教育的目的をもつ効果的なプロジェクトに補助金を支給しています。
- ▶ ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。
- ▶ ロータリー財団の構成員は「国際ロータリー」唯一であります。
- ▶ RI会長がRI理事長の承認を得て、15名の管理委員を任命します。全業務は、管理委員会によって処理されます。
- ▶ RIの事務総長がロータリー財団の事務総長となります。
- ▶ 国際ロータリーとロータリー財団は一体であります。

ロータリー財団の指名

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー財団の標語

『世界でよいことをしよう (Doing good in the world) 』

奉仕活動と資金調達は車の両輪

- 人類は一つです。世界中の貧困や飢餓が減少し、社会が向上し、世界が平和にならない限り、私たちの真の平和はありません。
- 私たちのロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要になります。

ロータリー財団への寄付

ロータリー財団は非営利財団で、ロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。

「毎年あなたも100ドルを」…Every Rotarian, Every Year (EREY)」…という合言葉の下、年次プログラム基金への寄付は、7大陸にある160以上の国や地域で行われている財団プログラムの主要な資金源となっています。アフリカの農村に井戸を掘ることから、ラテンアメリカの子供たちに読み書きを教えることまで、世界中のロータリアンは、自らの時間と専門知識を捧げて懸命にボランティア活動にあたっています。年次プログラム基金への寄付はすべて、質の高いロータリアンのプロジェクトの支援に有効に活用されています。

「毎年あなたも100ドルを」を通じて毎年100ドルを寄付した人は、自動的に「財団の友」会員となります。1,000ドル以上を寄付した人は、ポール・ハリス・フェロー（財団表彰）となります。

1. 年次寄付（税制上の優遇措置を受けられます）

年次寄付は、寄付の基盤であり、この寄付は使い道を指定することなく、ロータリー財団に寄付するもので、3年後に全額使われます。年次寄付は、50%が国際財団活動資金（WF）として、財団の管理の下に、あと50%が地区財団活動資金（DDF）として、地区の裁量の下に使用されていきます。

2. 恒久基金寄付（税制上の優遇措置を受けられます）

最低限度のプログラム活動を継続し、将来の新プログラムまたはプログラムの拡張を容易にするために、寄付金は使用せず基金として積み立てておくものです。収益のみが3年後に使用されます、恒久基金に少なくとも米貨1,000ドルを寄付した人はベネファクターの認証を受けます。

3. 使途指定寄付

あらかじめ使い道を決めて金額を問わず、財団プログラムを指定して寄付するものです。（地区のシェア・システムの対象とならない）ポリオ・プラスがその代表的例です。

ロータリー財団のプログラム

きれいな水が手に入らない村に井戸を掘るための資金の援助、環境保護、次世代を教育するための奨学金の提供など、財団のプログラムを通じて、ロータリアンや支援者の人々は、世界をより良い場所に変えています。

●ポリオ・プラス・プログラム

ロータリアンは、ポリオ撲滅に向けて何万人という人々を動員し、懸命な活動を行っています。1985年のポリオ・プラス・プログラムの発足以来、20億以上の子供たちが経口ポリオ・ワクチンを接種してきました。「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」は、ポリオ撲滅のためにビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から2度にわたり授与された総額3億5,500万ドルの補助金に応え、ロータリーがそれに上乗せするために2億ドルを集める募金活動です。ロータリーは、この2億ドルを2012年6月30日までに達成することを目標としていましたが、2012年1月に目標額を達成しました。

●補助金プログラム

財団の未来の夢計画では新地区補助金とグローバル補助金の2種類の補助金を通じて、クラブと地区は地元や海外で幅広い人道的・教育的活動を実施することができます。新地区補助金もグローバル補助金も次の3つの活動に分けられます：

- 1) 人道的プロジェクト (humanitarian project)
- 2) 奨学金 [scholarship, 国際親善奨学金という言葉は使われません]
- 3) 職業研修チーム (vocational training team)

●ロータリー平和センター・プログラム (ロータリー世界平和フェロー)

ロータリー世界平和フェローは生涯、仕事や奉仕活動を通じて国内外での協力、平和、紛争解決を推進するリーダーです。フェローは、国際関係、行政学、持続可能な開発、平和研究、紛争解決をはじめとする分野の修士号を取得、あるいは紛争解決の分野における専門的能力開発プログラムを習得します。

➤ 16 ロータリー米山記念奨学会

勉学または研究のために来日し、わが国の正規の学校または研究機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、彼らの留学の目的を支援するとともに、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする。

〈事業内容〉奨学金の支給／世話クラブとカウンセラー制度／ロータリアンと留学生との交流／国内外での学友会活動

ロータリー米山記念奨学会の歴史

平和を愛し、青少年に手をさしのべた”日本のロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、1952年、東京ロータリー・クラブは日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリー・クラブの共同事業として発展し、1967年に文部省（現：文部科学省）を主務官庁とする（財）ロータリー米山記念奨学会が設立されました。60有余年の歴史をもち、世界に類を見ない日本独自の多地区合同活動となっています。

ロータリー米山奨学金

ロータリー米山奨学金は、（公財）ロータリー米山記念奨学会が行う国際奨学事業です。これは、ロータリー財団の奨学金や政府奨学金のように学費や生活費のすべてを保証するものではなく、私費留学生の費用の一部を補助する趣旨のものです。米山奨学金の対象は、世界のすべての国や地域から日本に留学している学生となっています。

2002学年度採用から、各地区が指定した大学・学校に応募学生を推薦してもらう「指定校推薦制度」が全国で導入されました。年間の奨学生採用数はおよそ800人、事業費は14.4億円（2020年度決算）と、国内では民間最大の奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で21,624人（2020年7月現在）。その出身国は、世界121の国と地域に及びます。

世話クラブ・カウンセラー制度

奨学金による経済的援助だけでなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視しているのが特長です。

奨学生一人ひとりに、地域のロータリー・クラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かなものになるよう配慮しています。

奨学会に対する寄付金

普通寄付金

日本のロータリアンからクラブを通じて定期的にする寄付。各クラブで会員一人当たりの金額を決定し、会員数分を半期に一度送金します。2010年1月分から普通寄付金分もクラブから指定書式のデータ提供により、申告用領収書が発行されます。

特別寄付金

個人・法人またはクラブから普通寄付金以外に任意で寄付されるもので、金額も時期も問いません。ロータリー関係者以外の一般個人、法人、団体からも受けることができます。

寄付に対する表彰制度			
	累 計 額	表 彰 名	表 彰 品
個人寄付への表彰	3万円	準米山功労者	なし
	10万円	第1回米山功労者	感謝状（青色）
	20万～50万円	（以降10万円毎に）	感謝状（銅色）
	60万～90万円	第2回～第9回米山功労者マルチプル	感謝状（銀色）
	100万～ 390万円	（以降10万円毎に）	感謝状（金色）＋ 100万円毎にピンバッジ
	400万～	第10回～米山功労者メジャードナー	感謝状（金色）＋ 100万円毎にクリスタル盾
法人寄付への表彰	5万円	準米山功労法人	なし
	50万円	米山功労法人	感謝状
	100万円	（以降100万円毎に） 米山特別功労法人	感謝状もしくは盾 （選択可）
クラブへの表彰	100万円毎	米山功労クラブ	感謝状
	1,000万円毎	達成クラブ	感謝状（額縁）
		クラブ創立記念特別寄付	盾（10万円以上の場合）

免税措置について

ロータリー米山記念奨学会は、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付金には、所得税（個人）、法人税（法人）の税制優遇が受けられます。また、相続税も非課税となります。

2012年1月以降の寄付金から、従来の「所得控除」に加えて「税額控除」のどちらか有利な方式を選択できるようになりました。

➤ 17 ロータリーの推進月間と週間

7月

8月 会員増強および拡大月間

9月 新世代のための月間

10月 職業奉仕月間 米山月間

11月 ロータリー財団月間 世界インターアクト週間（11月5日を含む1週間）

12月 ロータリー家族月間

1月 ロータリー理解推進月間 追悼記念週間（1月27日を含む1週間）

2月 世界理解月間 世界理解と平和週間（2月23日に始まる1週間）

ロータリー創立記念日

3月 識字率向上月間 世界ローターアクト週間（3月13日を含む1週間）

4月 ロータリーの雑誌月間

5月

6月 ロータリー親睦活動月間 RI 国際大会

ロータリーの10徳

- 1) 交流関係が広がる
- 2) 常識が広がる
- 3) 行儀がよくなる
- 4) 朗らかになる
- 5) 社交的になる
- 6) 顔に品がでてくる
- 7) 几帳面になる
- 8) 話題が豊富になる
- 9) 健康になる
- 10) 家族が喜ぶ

**誰もが初めから立派なロータリアンではない
新会員はあなたに「ロータリーを学び」
そしてあなたは「ロータリーで学ぶ」**